令和３年４月３０日

インターハイ開催にあたってのお願い

（公財）全国高等学校体育連盟水泳専門部

部長　岡安　敦

１．競泳・飛込・水球ともに原則として無観客開催とする。

＊エントリー選手以外の部員・マネージャー等の入場は認めない。

＊ただし、水球は自チームのベンチに入れなかった部員のみ観戦を認める。

２．競泳

☆個人種目：標準記録突破者(*1)＋各ブロック大会１位(*2)まで＋各都府県特別措置
＋開催都府県特別措置

・(*1)ブロック大会が開催できなかった場合、または都府県単位で参加が認められなかった場合は各都府県大会の記録を採用する。

・(*2)ブロック大会が開催できなかった場合には適用しない。

☆ リレー種目：リレー競技は行わない。標準記録突破チームには「エントリー証明書」を後日送付する。

・ブロック大会が開催できなかった場合、または都府県単位で参加が認められなかった都府県は各都道府県大会の記録を採用する。

・リレーはプログラムにランキング形式で掲載するが学校対抗得点には加算しない。

☆ 競技日程及び競技順の変更

○４日間の出場選手数を平均化させ、同じ泳法種目が連続しないように配慮した。

・2 日目の 50m 自由形を 1 日目に移動。

・2 日目の 1500m自由形を 3 日目に移動。（決勝競技は 4 日目）

・4 日目の 100m 自由形と 400m 個人メドレーの競技順を入替え

☆ 各都道府県大会、ブロック大会ともに開催できなかった場合には、2020 年 4 月 1 日以降 2021 年度 7 月 26 日までの長水路公式記録を採用し、出場を認める。（ただし、個人種目のみとし、リレー種目は除く）

３．飛込

☆ シンクロナイズド飛込（公開競技）を実施しない。

４．水球

☆ 女子水球エキシビジョンマッチを実施しない。